

まだまだやるべきことがある**福井の交通**！！ 20201129 AOSSA



講演1：「新幹線開業に向けて、福井に期待すること」富山大学教授 金山洋一氏

講演2：「福井なりの交通まちづくりを考える～これまでとこれから」

福井大学名誉教授 川上洋司氏

発表：「ROBAが考える公共交通活性化のアイデア」 当会理事 林博

*講演要旨は227号(2021年1月号)で掲載予定

☆☆活動報告☆☆

- 11月10日 11月例会・理事会
公共交通活性化アイデア集制作会議
- 29日 地域交通を考えるシリーズ 講演会
- 12月8日 12月例会・理事会
- 18日 羽水高校フィールドワーク中間報告会

☆☆今後の予定☆☆

- 1月12日(火) 19:00~21:00 1月例会・理事会
 - 2月9日(火) 19:00~21:00 2月例会・理事会
 - 3月9日(火) 19:00~21:00 3月例会・理事会
 - 4月13日(火) 19:00~21:00 4月例会・理事会
- ※場所はすべてハピリン4F 福井市ボラセン会議室です

Wacky's ー押しCD その34

エリス・レジーナ「エリス・レジーナ・イン・ロンドン」

今回は、このコーナー第1弾でご紹介した「エリス」の再登場です。と言っても第1弾では、かの「アントニオ・カルロス・ジョビン」との共作でしたので、単独版としては初です。さて、このアルバムは、ブラジル最高の歌姫が、ヨーロッパそれもビートルズの本拠地イギリスに乗り込んで、ロックファンも唸らせたライブの記録です。ブラジルのサンバもボサノバとしての流行が終わり、ロックなどを取り入れた新しい運動であるMPBが盛んになった時期です。

このアルバムでエリスは、ジョビンの美しいボサノバも見事にこなしていますが、やはり、彼女のパンチ力が光る荒々しさのあるサンバ「ザズイエイラ」が聞き応えあります。ライブ録音とは思えない素晴らしいオーケストラも入ったアレンジ、お楽しみください。

ROBA 令和2年11月29日 講演会あいさつ文

NPO 法人 ROBA 会長内田佳次

ただいま紹介いただきましたふくい路面電車とまちづくりの会会長をしています内田と申します。

本日は新型コロナウイルス感染症で不安な中、ようこそご来場いただきましてありがとうございます。感染症予防もあり、消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンスを確保しながら開催させていただきます。よろしくお願いいたします。

本日は LRT の先進地富山市から富山大学教授金山先生と福井からは福井の公共交通とまちづくりの歴史を歩んでこられ、北陸の多くの地域の交通計画や都市計画に多大な実績を残されました川上先生のお二人同時開催という大変贅沢な講演を企画いたしました。



工期が遅れるという報道がありますが、2023 年春開業予定の北陸新幹線をにらみ、並行在来線とそれ等をつなぐ鉄道・バス・その他移動手段のあり方については、まだまだ課題が多く残っています。私たちはそれら課題を掘り起こし、どのような解決方法があるのかを市民レベルで検証を重ねてまいりました。

当会は来年設立 20 年をむかえます。この「地域交通を考える」というシリーズの講演会は 10 回を数えます。また、20 年間毎月例会と理事会を開催し、ROBA ニュースという機関紙も毎月発行続けています。今月で 226 号になりました。設立時のミッションである「利用しやすい公共交通で楽しいまちにしよう」という方針はいささかも変わりなく活動を継続しています。

コロナ禍の現状に置かれましては鉄道・バス事業者の経営環境が大変厳しく、今後人口減少も重なり経営の持続には困難が待ち受けているかと思えます。しかしながら、少子高齢化や免許返納、脱炭素化に対処するには、公共交通の持続・維持は欠かせません。これを機会に、多くの人たちがこの問題に関心を持ちいっしょに考えることを期待しています。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束することを願ひましてわたくしの挨拶とさせていただきます。

公共交通活性化アイデア集Ⅱの発表

林 博

新型コロナで、半年遅れで開催した地域交通を考える講演会で、公共交通活性化アイデア集Ⅱの発表を行いました。約1年半にわたって、練り上げたアイデア集ですが、参加されたみなさんご苦労様でした。今後、関係機関への提案や勉強会など、有効に活用していきましょう。

公共交通活性化アイデア集Ⅱ提出にあたって

福井県は交通政策の日本における先進地域の一つです。行政も事業者も住民も含め、地域が一体となって議論し、理解を深め、事業を推進し、鉄道を盛り立てて先進事例に押し上げてきました。いまや、えちぜん鉄道は全国から評価される地方鉄道となり、福井鉄道福武線も鉄道事業再構築事業の第1号認定を受けて着実に再生し、えちぜん鉄道・福井鉄道の相互乗り入れ・福井駅西口広場乗り入れが実現して日本のトラムトレインの先進事例となり、全体の利用者も増加しています。そして今、北陸新幹線の敦賀開業と、それに伴う北陸本線の並行在来線会社移管を控えています。私たちは、県内の公共交通ネットワークの再構築というテーマに関して、再度地域を挙げて議論する時期が来たと考えております。

そのような時代の転換点に臨み、NPO法人ふくい路面電車とまちづくりの会では、「公共交通活性化アイデア集Ⅱ」作成することに致しました。公共交通活性化アイデア集Ⅰは2002年1月に県および県内各市町村に提出させて頂きましたが、アイデア集Ⅰでは、誰もが考えていること、県民の誰かが考えるであろうことを、網羅的に考え体系的に整理し、県民の皆さんに提示したものでした。その内容の中には行政、事業者、県民の手によって既に実現したのものもあります。

それから既に18年が経過しました。福井県は間もなく、北陸新幹線の敦賀までの開業、北陸本線の並行在来線移管という交通体系の大きな変化を迎えます。それにより、北陸新幹線、並行在来線、えちぜん鉄道、福井鉄道、越美北線、小浜線を如何に連携させて最適な基幹交通の再構築を図るかという課題が生まれました。私たちは、福井が北陸新幹線敦賀開業を千載一遇の好機として、県内の「あるべき交通体系」を実現し新幹線開業効果の最大化も図るという考え方が必要であると考えております。その柱となるのは、「既存の鉄道網の活用」と、それへの「適切な投資」による鉄軌道網の「ポテンシャルの実現」であると私たちは考えます。そして、それをバスの高度な活用が補い、他の新しい概念も加えて、県民や来訪者が便利で使いやすく、人に優しく、福井県を活性化する公共交通ネットワークにしていくことが必要であると思います。

つきましては、ここに公共交通活性化アイデア集Ⅱを発表させて頂きます。この度、外部の方にも加わって頂いて実行委員会を立ち上げ、約1年半にわたって議論を行って参りました。18年前と比べ、MaaSなど新しい概念、新しい技術も生まれ、さらに、Withコロナ・Afterコロナの公共交通とまちづくり・地方創生という未知のテーマも加わりました。そのため、この「公共交通活性化アイデア集Ⅱ」は、長期的な展望のもとに提案されたものをはじめ、複数の考え方の異なる提案の併記などを含んでおり、すべてが実現可能な提案書、要望書とはなっておりません。あくまでもアイデア集として、交通まちづくり分野のNPOが中心となって考え、あるいは収集し、体系的に整理・編集した一参考資料としてご覧頂ければ幸いです。これをきっかけに、地域全体で、公共交通を活性化し、より良好な地域づくりを行う議論が活発化することを期待します。また、今後とも研究・議論を進めていく所存ですので、何らかの形で一緒に検討していく機会を設けて頂けましたらとてもうれしいです。今後も引き続きよろしく申し上げます。

令和2年11月29日

(特非) ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)

& 公共交通活性化アイデア集制作実行委員会

公共交通活性化アイデア集Ⅱ 目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 鉄道とバスを主体とした福井の公共交通ネットワーク | 1 |
| 2. 鉄道を主体とした地域公共交通ネットワークの強化 | 5 |
| 3. バスを主体とした地域交通ネットワークの強化 | 22 |
| 4. その他の提案 | 26 |
| 5. 県外との連携等による広域公共交通の強化（参考） | 31 |
| あとがき | 35 |

コロナ禍により各地の地方公共交通が苦境にある。福井も例外ではない。With コロナ、After コロナの取り組みがとても重要である。With コロナでは何よりも、国の支援が必須であり、After コロナでは国の交通モード毎の財源配分を変え、鉄軌道・バスなどの財源制度を手厚く変えなければ公共交通を維持していくことは難しく、これまで何とか続けてきた独立採算制はもう維持できない。これらは国に対して、行政からも、事業者からも、大学からも、NPO・市民からも、継続的に徹底して声を上げて行かなければならない。また、After コロナにおいては、国やそれぞれの地域の取り組みが求め、対処すべき社会課題がコロナ禍だけではないことも確かである。こんな時代だからこそ、「地域による鉄軌道の再評価と適切な投資、それによる活用・活性化・再生」に光を当てる必要がある。福井の交通政策は、福井鉄道とえちぜん鉄道の連携を先行させる判断を行い、鉄軌道を中心とした政策を実行し効果をあげてきた。日本が東京一極集中是正という課題を抱えるなか、これからの日本の時代におけるモデルとして、胸を張ってさらに推進して欲しい。

公共交通に徒歩や自転車を加え、ROBAでは「ホジロバ交通」と名付けている。「ホジロバ交通」とは、歩行者・自転車・路面電車・バスを指し、それらを体系的に組み合わせて、人と環境にやさしい移動を組み立てる考え方である。コロナ禍により公共交通を避ける空気が出てきているが、もし多くの人が移動をクルマに頼ったら、また渋滞が深刻になる。19年前に京福電車が突然止まり、地域が混乱に陥った経験を忘れてはならないだろう。

また、過度のクルマ依存は、以下の問題を引き起こすことが知られている。

- ①中心市街地の空洞化・郊外拡散による都市機能の低下
- ②社会資本整備・維持の高コスト化による財政の圧迫
- ③高齢者が第一当事者となる交通事故の発生可能性の増大
- ④渋滞による経済効率の低下
- ⑤公共交通の衰退
- ⑥高齢化や低所得化による移動制約
- ⑦移動制約による買物困難の発生・拡大
- ⑧地球温暖化等の環境問題
- ⑨歩く（運動）機会の喪失による生活習慣病の蔓延と医療費・介護費等の社会保障費の増大
- ⑩クルマの多数台保有による家計の圧迫

県民皆がこれらのことも視野に置いて、ホ・ジ・ロ・バ：歩行（者）・自転車・路面電車/鉄道・バス・クルマを賢く使い分けて、良好な社会を維持していく必要がある。それが「ホジロバ交通」の趣旨でありその益々の推進を今後も提案していきたい。

公共交通活性化アイデア集II完成までの奮闘と講演会の準備

(はた みゆき)

タイトルにあるように、アイデア集が完成するまでの奮闘ぶりと、講演会開催までのスタッフの様子を記録しておこうと思います。

まず公共交通活性化アイデア集IIですが、この冊子の完成までに、幾度となく大波が押し寄せてきたことを思い出します。思い返せば約1年半前、令和元年度の総会後に第1回目のアイデア集会議を開催しました。この時はワークショップ的な進め方をしましたね。まず自分が思っているアイデアを紙に書き、アイデアの内容と考えた背景を順番に発表しつつ、全員で内容を共有しながら進めました。その後の作業は出された意見を尊重しながら会合を重ね、アイデアの分類化と似たようなアイデアの統廃合等のブラッシュアップを行いました。

アイデア集の始動は実際には総会以前から準備が始まっていたので製作期間は約2年になりますが、令和元年5月26日から令和2年11月25日までに会議を開いた回数は23回（令和元年度12回、令和2年度11回）です。その他、公共交通活性化アイデア集メーリングリスト、ROBAメーリングリスト、個別メール等でのやりとり、個人毎の担当や宿題等を含めると、実に多くの時間と多くの人の知恵が結集されて冊子が出来上がっています。

悔いは残らないか！？と聞かれたら「う〜ん」と考え込んでしまいましたが、その時々での提出タイミングに併せて、その時のベストな内容にまとめました。時には意見の衝突、時間との戦い、誰が作業するのか等、本当にたくさんの場面で奮闘してきました。その奮闘ぶりがあったからこそ、悔いよりも大きな成果を得ることが出来たと思っています。

さて講演会ですが、コロナ感染症対策の準備をバッチリ整え、もしかしたら……?!の準備まで整え当日を迎えました。運営にあたっては多彩なメンバーに集まっただき、スムーズな運営で進行することが出来ました。ありがとうございました。

受付開始まで来場者の動きやスタッフの動きを入念にチェックし13時を迎えました。報道発表のとおり参加者はスタッフを含めると約80人です。例年なら列ができる受付は混雑することなく、バタバタすることもなく、何より密にならない会場環境が整えられて安心しました。

講演は金山先生と川上先生のお話をゆっくり聞くことができました。一方で開催までの準備段階では、講演会が本当に開催できる状態なのか、会場を押さえられるのか等の問題、当日は会場使用の時間的制限、会場の換気時間の追加等もあり、先生方には長期間に亘りご迷惑をおかけしました。開催できたことに感謝いたします。

さあ、無事に講演会も終わり「来年まで平穏な時間を過ごせるかな？」なんて思いたいですが、ふるさと百景事業を進めるための準備開始、アイデア集に盛り込んだ内容の事業化、その他モロモロとやるべきことが盛りだくさんです。これまでも、これからも会員のみなさん、協力してくださる皆様がいるからこそ続けられるので、これからもどうぞ、お力添えをお願いいたします。



作/漆崎 耕次



「鉄道旅へ行ってきました：酒井順子×関川夏央×原武史（講談社）」では、「徹底検証：北陸駅そば五番勝負！」と題して米原駅・福井駅・金沢駅・富山駅・直江津駅の駅そばが紹介されている。（2009年）

| | | 酒井 | 関川 | 原 |
|--------|-----|-------|-------|-------|
| 米原駅 | そば | ★★ | ★★★★ | ★★★★★ |
| (井筒屋) | 店構え | ★★★★★ | ★★★★★ | ★★★★★ |
| 福井駅 | そば | ★★★ | ★★★★★ | ★★★ |
| (今庄そば) | 店構え | ★★★ | ★★★ | ★★★ |
| 金沢駅 | そば | ★ | ★ | ★ |
| (白山そば) | 店構え | ★★ | ★ | ★ |
| 富山駅 | そば | ★★★★★ | ★★★★★ | ★★★★★ |
| (立山そば) | 店構え | ★★★★★ | ★★★★★ | ★★★★★ |
| 直江津駅 | そば | ★★ | ★ | ★ |
| (謙信そば) | 店構え | ★ | ★ | ★ |

ここで紹介されている「北陸本線：今庄そば 下りホーム店」が2020年11月25日に閉店。立山そばは未体験ですが、福井の駅そばは日本一だと思っている福井県民の一人として、金沢駅の白山そばのあの味を我慢している石川県民はえらい！私はもう食べないと思う！

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「2020年を締めくくる事業の講演会を無事終了いたしました。毎週第2火曜日を例会開催の基本としています。ご自由に参加して下さい。意見交換しましょう。」

林(変集長)

「先日、知り合い（大野市）が事故に巻き込まれ、亡くなりました。ゴミ集積所の掃除中でした。悲しい・・・。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>